<基礎研修>

- ◆対象:全ての障害福祉サービスの新人・若手職員等
- ◆研修のねらい:
- ・ 障害福祉サービスの対象となる高次脳機能障害者について知る。
- ・ 高次脳機能障害者の障害特性を理解し、日常的な支援での対応方法を習得する。

		時 間	科目	内容
I	講義	360		
	高次脳機能障害支援者 基礎研修とは	40	基礎研修の趣旨説明	本研修の対象となる障害・研修の構成
	高次脳機能障害とは	10	障害の定義	高次脳機能障害の定義・Q&A・各論の紹介
	高次脳機能障害の診断・ 評価	40	[英字张林 ① TH 卷77	典型画像と経過・症状の現れ方 問診・神経心理学的評価 【日常生活で気づくこと・留意すること】
	病院で行うリハビリテ ーション	40	障害特性の理解	医学的リハビリテーション 病院から地域へ 【診断書のポイント・地域支援体制】
	失語症とコミュニケー ション支援	40	失語症とコミュニケ ーション支援	失語症と具体的な対応の要点
	制度利用	40	制度利用	障害者手帳と総合支援法サービスを中心に
	相談支援	40		情報収集とアセスメント
	生活訓練	40	Lib b子)ァ よい ナ フ II 、、 1×	自立訓練(生活訓練)における支援の取組
	復職・就労移行支援	40	地域におけるリハビ リテーション	障害福祉施設及び障害者雇用施策における 取組
	生活と支援の実際	40		就労継続支援 B 型事業所の例から
П	演習	360		
	障害特性の理解;診断・ 評価体験	90	診断・評価体験	「順唱」「線分二等分」や「描画」等の体験 (注意や記憶の働き等の理解) MMSE/WAIS/BIT/BADS など、基本対応
	障害特性に応じた支援	90	退院時の実際 情報収集とアセスメ ント	課題提示 グループ検討・発表 解説・質疑
	生活訓練の実際	90	生活訓練の実際	課題提示 グループ検討・発表 解説・質疑
	復職・就労移行支援	90	復職・就労移行支援	課題提示グループ検討・発表解説・質疑

<実践研修>

- ◆対象:サービス管理責任者、相談支援専門員などの高次脳機能障害者 支援の経験者等
- ◆研修のねらい:
 - ・多職種連携(チームアプローチ)の重要性を理解する。
 - ・高次脳機能障害者の支援の短期的な方向性(個別支援計画等)を立てることができるようになる。

		時間	科目	内容
I	講義	400	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	障害特性に応じた支援・地域の支援体制	40	障害特性に応じた支 援	地域における高次脳機能障害の支援体制
	認知症との共通点と相 違点	40		認知症との共通点と相違点
	発達障害との共通点と 相違点	40		発達障害との共通点と相違点
	小児期における支援	40	ライフステージに応 じた支援	小児期発症の高次脳機能障害の特徴/復学 支援
	長期経過とフォローア ップ	40		各ライフステージにおける高次脳機能障害 の特徴/支援
	多職種連携・地域連携; チームアプローチの重 要性	40	チームアプローチの 重要性と支援の原則	地域連携とチームアプローチ
	多職種連携・地域連携; 家族(きょうだい)支 援・当事者家族会の活 動	40	家族 (きょうだい) 支援・当事者家族会の活動	高次脳機能障害者家族支援
	コミュニケーション支 援	40	コミュニケーション 支援 (地域生活・職場 での支援)	失語症・高次脳機能障害によるコミュニケー ション障害の理解
	支援の実践的な枠組み と記録	40	支援の実践的な枠組 みと記録	支援の実践的な枠組み・プロセス/アセスメント票と支援の手順書の理解/記録方法
	自動車運転再開支援	40	自動車運転再開支援 評価・手続き	高次脳機能障害者の自動車運転支援に関連 する法制度、運転評価、課題や留意事項など の理解
Π	演習	360		
	障害特性の理解と対応 方法	180	1. 障害特性の理解と 対応方法 2. 障害特性とアセス メント	高次脳機能障害者の心理と対応法の理解 障害特性に基づくアセスメント グループワーク(障害特性の把握と対応方法 のディスカッション) 対応方法演習(ロールプレイ)
				グループワーク及び発表(対応方法の振り返りと支援計画検討)
	環境調整による支援と 記録に基づく支援の評 価	180	1. 環境調整の考え方 と方法 2. 記録の収集と分 析	強みや好みを活かす視点 環境調整の考え方 環境調整の方法 行動の記録の方法 記録の整理と分析 再アセスメントと手順書の修正 チームアプローチを学ぶ(個別支援計画作成 演習)

高次脳機能障害支援者養成研修 基礎編シラバス

	講義名	到達目標	内容	時間数
講義 00	高次脳機能障害支 援者基礎研修とは	基礎編研修の趣旨につい て理解する。	基礎編研修の対象者および構成	_
講義 01	高次脳機能障害とは	高次脳機能障害の定義を 知る。	高次脳機能障害の定義 Q&A 各論の紹介	40 分
講義 02	高次脳機能障害の 診断・評価	高次脳機能障害が生じる 背景と診断・評価の基本 を理解する。	診断の流れ症状の成り 立ち症状の診かた神経 心理学的評価	40 分
講義 03	病院で行うリハビリテーション	急性期から回復期に至る 病院でのリハビリテーションの内容を理解する。 さらに、医療機関と地域 の福祉機関と の連携方法を理解する。	医学的リハビリテーション ① 急性期および回復期の理解 ② 医学的管理 ③ 廃用症候群の予防 ④ 高次脳機能障害への対応医療 福祉連携 ① 障害者総合支援法の利用 ② 介護保険法の利用 ③ 就労支援機関	40 分
講義 04	失語症とコミュニ ケーション支援	失語症についての基本的 なイメージを持ち、具体 的な対応の要点を理解する。	失語症とは何か。 適切な対応方法	40 分
講義 05	制度利用	高次脳機能障害支援に関連する法制度を理解する。	高次脳機能障害支援に関連する法制度 障害者総合支援法に基づくサー ビス障害者手帳制度手続き活用方 法と事例	40 分
講義 06	相談支援	高次脳機能障害支援における情報収集・アセスメントの要点を理解する。	診断名と症状や受傷発症 状況既往歴と医療機関家 族と関係者生活状況と生 活史制度利用	40 分
講義 07	生活訓練	高次脳機能障害の生活 訓練について理解する。	・生活訓練の概要 ・高次脳機能障害者の生活上の困難さ ・生活訓練におけるアセスメントと目標立案 ・訓練プログラムの内容 ・生活訓練における支援のポイント	40 分

講義 08	復職・就労移行支援	1. 基本的な就労支援施策を理解する。 2. 高次脳機能障害者への就労支援のプロセスを理解する。	 就労支援施策 発症・受傷から復職・新規就労までの流れ 障害者総合支援法に基づく就労系サービス 障害者雇用施策に基づくサービス 就労移行支援における取組 就労支援のプロセス 職業相談 職業評価 職業準備訓練 復職・新規就労支援 高次脳機能障害者の就労支援のポイント 高次脳機能障害者の課題と就労支援のポイント 自己理解の重要性と困難さる 社会適応モデル 	40 分
講義 09	生活と支援の実際	生活支援の場における支援のプロセスと支援方法、課題について理解する。		40 分
演習 01	障害特性の理解; 診断・評価体験	高次脳機能障害の診断に 用いられる評価を体験し 理解する。	下記検査を体験し、検査上の異常について理解する。 順唱・3単語再生・セブンシリーズ・線分二等分テスト・2輪の花の絵模写・立方体透過図の模写	90分
演習 02	障害特性に応じた 支援	具体的な事例を通して、 高次脳機能障害支援にお ける情報収集・アセスメ ントの要点を理解する。	脳卒中・脳外傷(通勤中の自動車事故)の事例を通して、「診断名と症状や受傷発症状況」「既往歴と医療機関」「家族と関係者」「生活状況と生活史」「制度利用」等の情報収集・アセスメントの要点を理解する。	90分
演習 03	生活訓練の実際	具体的な事例を通して、 生活訓練における 支援の実際を理解する。	生活課題のある就労を目指す事例を通して、生活訓練における「目標設定」「計画立案」「訓練項目及び内容」「調整項目及び内容」「他機関との連携」等の要点を理解する。	90分
演習 04	復職・就労移行支援	医療機関と就労支援機関 の立場による違いを知る とともに、基本的な就労 支援のプロセスについて 理解する。	脳卒中の復職ケースの事例を通して、 「医療機関で必要となるアプローチ・ 難しいアプローチ」「医療機関と就労支 援機関の連携をする上での課題、効果 的な情報提供」「就労支援機関で必要と なるアプローチ」について理解する。	90分

高次脳機能障害支援者養成研修 実践編シラバス

	講義名	到達目標	内容	時間数
講義 01A	障害特性に応じた 支援・地域の支援 体制	地域における高次脳機能 障害の支援体制について 理解する。	地域の支援体制支援拠点機関等が行う 事業内容社会資源(保健・医療・福祉・ 当事者団体等)の情報	40 分
講義 01B 前半	認知症との共通 点と相違点	認知症について、認知機能の特性を知り、高次脳機能障害と比較し理解する。	認知症の種類・認知機能の低下・周辺 症状について原因から理解し、対策を 考えられるようにしていく。	40 分
講義 01B 後半	発達障害との共 通点と相違点	発達障害について、その 症状特性を知り、高次脳 機能障害と比較し理解 する。		40 分
講義 02A	小児期における 支援	小児期発症の高次脳機 能障害の特徴、症状と対 応方法を理解する。子ど もの社会復帰先である 学校との連携や家族支 援について理解する。	小児期における支援 ・小児高次脳機能障害の特徴 ・症状と対応方法 ・復学支援(学校との連携) ・家族支援	40 分
講義 02B	長期経過とフォローアップ	小児期・青年期・成年期・ 壮年期・高齢期それに おライフステージに 高次脳機能障害の 特徴と対応を理解から 受傷から医学的リハ・生 活訓練・職業まで 就労に至期の機能に 主、 北年期の機し と、知症に と、知症に と、知症に の支援について での での での での での の での での の での で	・受傷・発症から 10 年経過した事例	40 分
講義 03A	多職種連携・地域 連携;チームアプ ローチの重要性	高次脳機能障害児者と 家族が地域で生活を安 心して送るためにムム な地域連携とチー支援を プローチの方法、支援を 行うにあたってのて 付けたい点について 解する。	高次脳機能障害児者支援における多職種連携・地域連携 ・多職種による支援チームの意義 ・支援チームを作るときに ・「家族との連携」と「家族支援」 ・継続した地域連携 ・地域における支援の仕組み	40 分

講義 03B	多職種連携・地域 連携;家族(きょ うだい)支援・当 事者家族会の活 動	高次脳機能障害者家族 支援の必要性と支援の 視点を理解する。	高次脳機能障害者家族の困 難感情反応と障害受容の理 論家族支援の視点家族会の 活動きょうだいの問題ケア ラーとしての家族への支援	40 分
講義 03C	コミュニケーション支援	失語症向け意思疎通支援事業について理解する。失語症以外の高次脳機能障害によるコミュニケーション障害の特徴と対応方法について理解する。	失語症の場合の失語症者向け意思疎 通支援事業失語症以外の高次脳機能 障害によるコミュニケーション障害 の特徴と対応高次脳機能障害による コミュニケーション障害の症例提示	40 分
講義 03D	支援の実践的な枠組みと記録	・地域生活支援を展開するための諸計画の作成ポイントやつながりを理解する。 ・記録を踏まえたフィードバックの意義を理解する。	・サービス等利用計画の作成ポイントと個別支援計画とのつながり ・個別支援計画の意義と手順書のつながり ・記録とフィードバックの意義 ・地域の相談支援体制の活用	40 分
講義 03E	自動車運転再開支援	高次脳機能障害者の自動車運転支援に関連する法制度、運転評価、課題や 留意事項などを理解する。	運転免許制度自動車の運転評価で確認する事項 自動車運転で生じる課題、留意事項など 自動車と運転補助装置の選択自動車 に関する税と助成制度など 各学会の自動車運転に関する適応や 指導指針	40 分
演習 01	障害特性の理解 と対応方法	高次脳機能障害者の心理と対応法を理解する。 障害特性に基づくアセスメントを理解する。	グループワーク: 事例によるロールプレイ レイ グループワーク: 事例検討	180 分
演習 02	環境調整による 支援と記録に基 づく支援の評価	支援内容の組み立てに際し、本人を取り巻く環境の調整により課題解決を図る方法を学ぶ。 支援記録を踏まえた本人へのフィードバックのあり方について理解する。	う。 モデル事例による ・支援記録を踏まえた本人へのフィ	180 分